

アンカーデスクtop

ニュース

ニュース速報

エンタープライズ

デベロッパー

セキュリティ

PCUpdate

LifeStyle

モバイル

ゲーム

サービ

プリンタ用表示

IT Premium会員専用

会員登録はこちら



- ▶ 浅井英二
- ▶ 小寺信良
- ▶ 佐藤晃洋
- ▶ トライゼット西川善司
- ▶ 長谷川裕行
- ▶ 本田雅一
- ▶ 松尾公也
- ▶ David Coursey
- ▶ Robert Vamosi

FEED BACK

ご意見・ご感想

リリース送付先

広告掲載のお問い合わせ

OPINION

竹村謙

「スピード」は「習慣性のある合法ドラッグ」なのだろうか?

小寺信良

コラム

2004/01/13 17:42:00 更新

INFO!

ケータイ

する!

変化の

が求め

Aspect

不正進

ント(IT F

2004 International CES

まだ残っていた“日本の音”

エネルギー変換効率85%の1ビットアンプ、リスニングポイントを変えて音が変わらない多面体スピーカー。創意にあふれた日本のオーディオベンチャーをCESで訪ねた。



International CESの最終日午後。初日から毎日夕方6時まで開く会場も、最終日は4時には店じまい。小さなベンダーは昼を過ぎると、徐々に撤収を開始する。そんな折、ハイエンドオーディオ機器ベンダーの展示が行われているアレクシス・パークというリゾート・ヴィラに足を運ぶことを毎年の定番にしている。AV機器ベンダーが主役のCESだが、今やすっかりニッチ産業となつたオーディオ業界。だが、きちんと文化としてのオーディオをフォローしているところは、さすがにCEA(家電協会)主催のCESならではと言える。

プールをヴィラが囲み、それぞれの部屋にインストールされたオーディオが奏でる音楽を楽しみながら取材を行うアレクシス・パークの風景は、メイン会場のラスベガスコンベンションセンターと同じ展示会とはとても思えない、ゆったりとした空間がある。

世界に名を馳せるハイエンドオーディオメーカーが集まるアレクシス・パークだが、今回はあえて日本のオーディオメーカーを訪ねてみた。

Innovation Awardsを受賞した浜松のベンチャー

International CESでは、技術やデザイン、製品アイディアなどの面で革新性が認められた製品に対し、Innovation Awards(関連記事を参照)という賞を授与しているが、浜松にある小さなオーディオベンチャー企業がこの賞を取つた。フライングモールという、ちょっと変わった名前を持つオーディオベンダーは、ヤマハのオーディオ部門からスピーカーをアウトした技術者が設立した会社である。

▼ ad1

VAIOに何が起きたか?——

type A篇

石橋啓一郎

Winnyを肯定的に議論する

■ その他の最新コラム

[海外記事] 「電子投票反対!」を唱える理由 [3/5]

[国内記事] 気紛れ映像論:ニコンD70はなにをもたらすのか~または「私的ニコン/キヤノン論」[3/5]

[国内記事] e-Day:クライアントPCもデータセンターに押し込め [3/3]

[国内記事] International Feel:「ユーザー」×「メーカー」×「訴えます」[3/2]

[海外記事] オンライン人脈ネットワークはビジネスの役に立つか? [3/1]

[海外記事] ウイルス対策ソフトは無料にするべきだ [3/1]

[国内記事] 「改造車」と自作PCの奇妙な接点 [3/1]

[海外記事] コードから解放されたワイヤレスMP3プレーヤーの可能性 [2/27]

[海外記事] Microsoftが「まだ」携帯市場を占領しない理由 [2/25]

[国内記事] e-Day:「標準化のS字曲線」はDellの金太郎飴 [2/24]

[国内記事] International Feel:「ハッカー」×「ペブシ」×「ソース」[2/24]

『チューナーレスTV』のススメ? [2/23]

[海外記事] Windowsのコード流出に感じる「ゼロデイ」の危険 [2/23]

[海外記事] 通信業界を見舞う大変動、小さき私たちへの影響は [2/18]

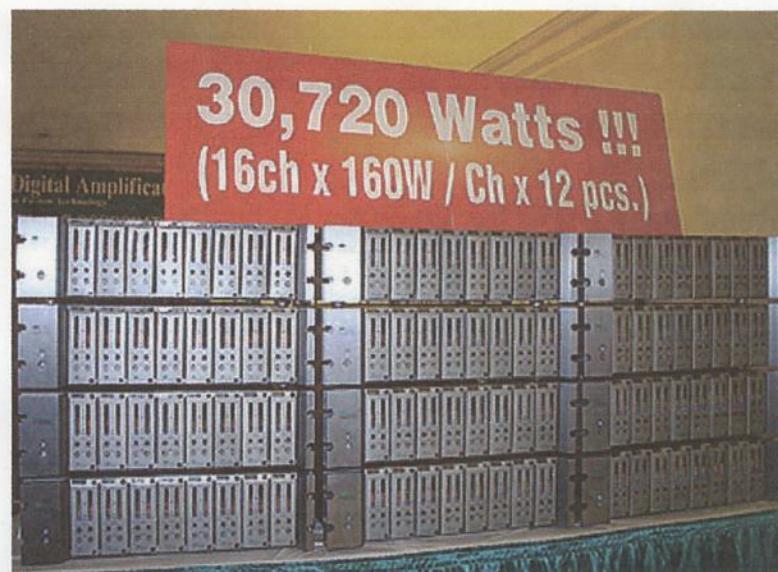
[海外記事] デスクトップPCとノートPC、本当に必要なのは

フライングモールの“ウリ”は、1ビットのデジタルストリーム信号をそのまま増幅するデジタルアンプの技術にある。1ビットアンプの仕組みはここでは割愛させて頂くが、原理的には正確でスピーカーの駆動力も高い、素晴らしいパワーアンプを作れる。しかし、実際には位相管理などの難しさなど技術的に困難な面もあり、ハイエンドオーディオ向けに発売されている1ビットデジタルアンプは意外に少なく、また全般的な評価としてアナログアンプに及ばない面もある。

ハイエンドオーディオは、特性よりも感性の製品で、我々のようにテクノロジ面から取材を行う記者には、うまく良さを語れない部分もあるが、中高域がスッキリしすぎて多少物足りなさを感じるもの、締まった低域や誇張の少なさは非常に魅力的。そんな風に感想を語るのは、実はフライングモールの「DAD-M1」という小型アンプを、個人的に評価で利用したことがあったからだ。

フライングモールのアンプがユニークな点は、そのエネルギー変換効率にある。なにしろエネルギー変換効率が85%にも達するのだ。高級トランジスタアンプや真空管アンプは、エネルギーのほとんどを熱として放出する。捨てる電力は数100~数1000ワットにもなる。85%という数字は、間違いじゃないだろうか?と疑うほど高い。

エネルギー変換効率が高いということは、多くのアンプを高い密度で実装できることを意味している。実際、前述したDAD-M1というアンプは、はがき程度のサイズに電源も一緒に実装しながら、最大180ワットという大出力を出すことが可能だ。



あなた
情報収
IT
ケータイ

上記
IT
が利
用

PCUP
Special
フルモデ
インチワ
—LaVie



どっち? [2/17]

[海外記事] e-Day:寒波も蹴散らすDell [2/17]

[国内記事] International Feel:「光」×「出戻り」×「ソースコード」[2/16]

[国内記事] 音から発想する映像制御——ローランドが提唱する「V-LINK」とは [2/16]

[国内記事] DirectX9リアル対応3Dゲームが出てこない理由(その2) [2/13]

[国内記事] 気紛れ映像論:デジタル化で鮮明になった「映像表現の時差」[2/12]

[国内記事] DirectX9リアル対応3Dゲームが出てこない理由(その1) [2/12]

[国内記事] e-Day:同じアドビのPDF技術でも結構違う [2/10]

[海外記事] IE臨時パッチをめぐる混乱はなぜ起きたのか [2/10]

[国内記事] 著作権の未来はどこにある? [2/10]

International Feel:「攻撃」×「防御」×「攻撃」[2/9]

[国内記事] e-day:大学がCRMだって? [2/4]

[国内記事] 気紛れ映像論デジタル一眼レフ——ユーザーの裾野を広げるのはやはりキヤノンか? [2/3]

上り高速化ADSLの導入を阻む、将来のサービス像の隔たり [2/3]

[海外記事] ビル・ゲイツ氏の「スパム滅亡計画」に効き目なし [2/2]

[国内記事] 両親にインターネットを使わせるとしたら—Part2 [2/2]

[国内記事] International Feel:「ウイルス」×「悪役」×「北朝鮮」[1/30]

[国内記事] e-Day:ベビーブーマーの定年とJ2EEの関



今回、CESでInnovation Awardsを受賞したのは、DAD-M1と同じアンプモジュールを利用した、16チャンネル(チャンネルあたり出力180ワット)のスタッカブルアンプ「DPA-M1616 Cascade」。ステンレス製の4U19インチラックシャシーに、2チャンネルごとに独立したアンプユニットを最大8台設置可能。モノラル出力で300ワットのモジュールも選択できる。

まるでスタッカブルハブのような高密度実装だが、動作中のアンプに直接手を触れてみても暖かい程度。エネルギー変換効率が高いからである。

米国ではリフォーム時に、オーディオシステムを各部屋にカスタムインストールする事も珍しくない。その場合に、質が良く高密度で実装できるアンプを集中的に配置。各部屋のスピーカーにつなぐといった用途に応えるための製品と言える。もちろん、スタジオなどの業務用にも適しているだろう。

日本では5.1チャンネルから7.1チャンネルへと、マニア向けシステムの主流が移ろい始めている中、8チャンネルの手頃なパワー・アンプが欲しいところ。フライングモールでも、8チャンネル出力のよりコンパクトな製品も、視野に入れているという。

多面体のスピーカーが作り出す不思議な世界

このフライングモールを取材に行ったところ、同じスイートの隣の部屋でソリッドアコースティックスという会社が、不思議な多面体のスピーカーを展示していた。ちょうど居合わせた社長の川上巖氏に話を伺うと「日本でもいろいろとプロモーションを行いましたが、“これ、AV用にはいいかもね?”と言って、なかなかちゃんと音質を評価してくれなか

レビュー
キーボード
小最軽量
ソニーソ
U



LifeSt
レビュー
幼い日の
レビ”を



レビュー
“軽快”な
日立の
ダーフィーMS



Enter
ニュース
Sasser容
種のワー

特集
Webパー^ペ
Web/ペ



Shop
好評展開
バイヤー^{いどき}
カメラ200
各社出
カメ2004
れに違い
め、どれ
いる人も
自分にひ
悔しない
品を見つ